

認知症の短期検査入院について



■説明は
徳島大学病院精神科神経科
医師

木下 誠
(きのした まこと)

■お問い合わせ先
精神科神経科外来
Tel: 088-633-7128

患者さんへひとこと

認知症は早期発見し、進行を抑制することが重要な病気です。物忘れが気になる方はかかりつけ医に相談の上、本院精神科神経科を受診いただければと思います。ご家族が気になった場合でも結構です。徳島大学病院精神科神経科のHP (<https://tokushima-psychiatry.jp/>) にも説明がありますので、ご参考にさせていただきます。

「昨日は何を食べたかな?」「財布はどこに置き忘れたかな?」

人間誰もが物忘れをすることはよくありますが、高齢化の進む日本においては、「認知症」の心配をされている方は多いのではないのでしょうか。今回は、認知症と本院で実施している短期検査入院について、精神科神経科の木下医師にお話を伺いました。

認知症について

認知症は、記憶・思考・判断などの認知機能が低下し、社会生活や日常生活に支障が出る病気です。「昨日何食べたかな?」と忘れてしまっても、食事の内容を他の人から教えてもらって思い出せるのが普通の物忘れですが、思い出せない、或いは食べたことも忘れてしまうのが認知症です。

認知症にはいくつか種類があり、その代表的なものに、脳への原因物質の蓄積によって脳神経が傷つき発症すると言われるアルツハイマー病などがありますが、どれも根本的な治療法は見つかっていません。進行してしまった症状を改善させることは難しく、進行をある程度抑制する薬を用いて進行を緩やかにするとともに、症状を軽減させることを目的とした治療を行うことになるため、認知症の早期発見と鑑別診断(患者さんの症状から、その原因となる病気を絞り込み、特定すること)はとても大切です。しかし、認知症の診断は難しく、症状の厳密な評価に加え、様々な検査を行う必要があります。

●認知症の種類

アルツハイマー病、脳血管性認知症
前頭側頭型認知症、レビー小体型認知症 など

認知症の短期検査入院

本院精神科神経科では、基本的にかかりつけ医で認知症が疑われた方を対象に、認知症の短期検査入院を行っています。まず患者さんは、かかりつけ医からの紹介状を持参して、精神科神経科外来を受診いただき、その結果、検査入院が適切であると判断された場合に入院日程を調整します。

入院期間は月曜日から木曜日の3泊4日です。具体的な検査内容はスケジュールのとおりとなっており、脳神経内科・放射線科と協力して検査・診断を行っています。検査結果は退院後2週間を目処にまとめ、かかりつけ医からの紹介の場合は、直接かかりつけ医に結果を伝えます。

徳島大学病院の認知症短期検査入院スケジュール

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日
午前	入院開始	・認知機能検査①	・髄液検査(※) ・血液検査(※)	・認知機能検査③ 検査終了後、退院可能
午後	・脳血流シンチ (脳の血流を評価する検査) ・頭部MRI	・認知機能検査②		

(※)保険診療に含まれず、臨床研究の一環として行う検査(費用負担なし)も一部含まれますので、検査入院の患者さんには精神科神経科と脳神経内科で行っている臨床研究への同意をしていただく必要があります。

認知症の早期発見のために

認知症については、新しい薬も開発されていますが、やはり傷ついた脳神経を再生することはできないため、早期発見がこれからも大切であることに変わりはありません。

認知症の初期症状の代表的なものとしては、最近もの忘れが多くなってきた、何度も同じことを尋ねてくるといったものですが、その他に無気力になった、誰も居ないのに人の姿が見えると言い始めた、以前に比べ性格がだらしくなったなど、一見認知症には思えないような症状がみられることがあります。これらの症状は自覚がなく、ご家族が先に気づかれることもあります。ご本人だけでなく周りの方も何か気になることがあれば、かかりつけ医にご相談いただくとともに、本院の検査入院についても知っていただき、是非ご活用いただければと考えています。

